

共生社会を目指すために「心のバリアフリー」を実行していきましょう

「共生社会」とは

障がいがある、ないに関わらず、女性、男性、高齢者、若者、子どもも全ての人がお互いの人権や尊厳を大切に、支え合い、誰もが生き生きとした人生を送ることができる社会のことです。共生社会では、支える人と支えを受ける人に分かれることなく、ともに支え合い、さまざまな人々の能力が発揮されます。

「心のバリアフリー」とは

身体や心のさまざまな特性や考え方を持っている全ての人々が、お互いに分かり合うために、話をしたり、支え合うことです。ひとりひとりが、バリアを取り除くための行動をしていく必要があります。

心のバリアフリーを実行していくための3つのポイント

- 1 障がいのある人にとって困りごととなっている社会にあるバリアを取り除くのは、社会の責任であることを理解すること。
- 2 障がいのある人（およびその家族）への差別を行わないよう徹底すること。
- 3 自分とは違う状況にある人とコミュニケーションをする力をつけ、全ての人々が持っている困りごとや痛みを想像し、ともに感じる力をつけること。

牧之原市第3次障がい者計画

基本理念を「共にあゆみ 共によりそう 心でつながる牧之原」とし、障がいのある人もない人も、全ての人々が地域社会の中で共に生きる一人の人間として互いに認め合い、支え合い、寄り添いながら、安心して幸せに暮らせる温もりのある社会を目指します。市では、この基本理念に基づいて、この計画が目指す将来像を「みんなで支え合い 自分らしく暮らせるまち」と定め、各施策を推進します。

障がい者団体の紹介

市内には、複数の障がい者団体が活動をしています。興味のある人は、問い合わせ先までご連絡ください。

団体名	概要など	活動日時・場所	活動内容	問い合わせ
身体障害者福祉会	身体障がい者と健常者が親しく交流し、お互いの認識を深める会。	随時	旅行、グランドゴルフ、ボウリング、オセロ、将棋など	河原崎 ☎0344
手をつなぐ育成会	知的障がい児の保護者会として、地域に正しい理解を促進する活動や保護者同士が親睦を深める活動を行う。	随時	定例会、旅行、お楽しみ会、研修など	榛原事務所 ☎5187
NPO法人精神保健福祉みどり会	精神の病を持つ人の家族がお互いに病気について学ぶ会。	随時	家族学習会	小俣 ☎3767
ひまわり会	障がい（自閉症、知的障がい、ダウン症など）を持つ子とその家族の会。	2か月に1回 さざんか・榛原文化センター	定例会、イベントなどの参加	—
榛南重心親の会メイフラワー	牧之原市または吉田町に住み、知的障がい・肢体不自由の両方がある子を育てる親の会。	毎月第2日曜日 午前10時～正午 吉田町健康福祉センター はあとふる	子どもに関する悩みなどの情報交換、親子で参加できるイベント	戸塚 ☎4070
榛南断酒会	断酒をしたい人が集まり、各自の酒害体験を語り、他者の体験談を聞くことで、見つめ直して断酒継続を図る活動を行う。	毎週 さざんか	定例会（酒害体験談、酒害の学習）	渡辺 ☎0453
エジソンキッズ	発達に不安や偏りがある子を持つ家族を対象とした家族サークル。	毎月第3日曜日 午後2時～さざんか	子どもについての話し合い	✉ejisonkizu2020makino@inohara@gmail.com
榛南視覚障害者協会	視力の低下や見えにくさを感じている人を対象に、障がい当事者の立場から初期的な相談に対応。	随時	相談対応	蓮池 ☎1208

障がいを理由とする差別をなくしましょう

— みんなが一緒に暮らす社会へ —

「障害者差別解消法」は、国や市区町村といった行政機関や会社やお店などの民間事業者の障がいがある人に対する「障がいを理由とする差別」をなくすために制定された法律です。皆さんひとりひとりが障がいについて理解し、障がいを理由に不当な差別や制限といった差別に気づき、平等に暮らせる地域社会をつくりましょう。

問い合わせ 社会福祉課 進藤麻実・森田雅広 ☎0072

わたしたちができる心づかい

呼吸器の機能障がいがある人の近くでは、喫煙は控えましょう。酸素吸入装置などを利用している場合は、引火の危険があります。

盲導犬など身体障害者補助犬を連れている人がいたら、犬に声をかけたり触ったりして補助犬の役割の邪魔をしないように注意しましょう。

聴覚障がいのある人は、後ろからくる自転車のベルや自動車のクラクションが聞こえません。「何か聞こえない理由があるのかもしれない」と考えて、無理な追い越しなどはやめましょう。



知的障がいのある人などの同伴者から要望があれば、なるべく落ち着きやすい席を用意したり、ゆっくりと話しかけたりするなどの対応を心掛けましょう。

合理的配慮が求められる「社会的障壁」とは

障がいのある人にとって日常生活や社会生活を送る上で障壁となる一例です。

【道路の段差】

3センチ程度の段差でも、車椅子は進めなくなります。



【ホームページ】

全てが画像だと、読み上げソフトが機能しません。



【書類】

難しい漢字ばかりでは、理解が大変な人もいます。



障がいを理由とする差別で困ったときには相談窓口にご相談ください

- ▶ 牧之原市 社会福祉課 障害者支援係 ☎0072
- ▶ 静岡県 障害者差別解消相談窓口 ☎054(252)9800
- ▶ 生活支援センターやまばと ☎0223
- ▶ 生活支援センターつばさ ☎2610
- ▶ 相談室こころ ☎5529

広げよう！ シトラスリボンプロジェクト

市と市障害者自立支援ネットワークでは、新型コロナウイルス感染症に誰もが感染する可能性がある中、医療・介護従事者の皆さんへの感謝の思いと感染者への差別や偏見のない地域にしていきたいという思いを込めた「シトラスリボン缶バッジ」を市内の福祉事業所で販売しています。皆さんも一緒に活動の輪を広げませんか。

【バッジに関する問い合わせ】
就労継続支援B型事業所
あじさい ☎5529

